**作成日：2025 年 3 月 17 日**

# 研究協力のお願い

**昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。**

**この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。**

| |
|---|
| 藤が丘病院において持続的腎代替療法を施行した患者の透析量とその予後に関する調査 |
| **１．研究の対象および研究対象期間**<br>2017 年 1 月 1 日から 2022 年 8 月 31 日まで昭和大学藤が丘病院に入院し持続的腎代替療法（CRRT）を施行した患者さん |
| **２．研究目的・方法**<br>**研究目的**<br>持続的腎代替療法（Continuous Renal Replacement Therapy：CRRT）は、腎機能障害があり循環動態が不安定な患者さんに行われる治療です。急性腎障害（AKI）に対する CRRT の治療量は、KDIGO（Kidney Disease：Improving Global Outcomes）のガイドラインにおいて 20～25ml/kg/hr が推奨されていますが、日本では 600～800ml/hr（体重 60 kgとして 10-13ml/kg/hr）が一般的です。これまでに日本の観察研究と多国間での観察研究を比較して、低治療量の CRRT が予後を悪化させないと報告されています。しかしながら本邦における CRRT の治療量とそれによる予後を検討した研究は少ない現状があります。本研究では、CRRT を施行した患者さんを対象に、CRRT 治療量と予後を検討することが目的です。<br>**研究方法**<br>2017 年 1 月から 2022 年 8 月まで昭和大学藤が丘病院へ入院し CRRT を施行した患者さんを対象とした後ろ向き観察研究です。15 歳以上の患者さんで、ICU・救命救急センター滞在中に CRRT が行われた患者さんを対象とし以下に記載の項目を調査します。 |
| **３．研究期間**<br>昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年　3 月　31 日まで |
| **４．研究に用いる試料・情報の種類**<br>CRRT 実施に関する情報（1 時間あたり透析量、透析日数、透析液内容、除水量、補液量、透析膜種類）、 |

患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、腎障害の要因、併存症、既往歴、現病歴、併用薬、入院日、退院日、入院期間、転帰、入院時入院形態、入院時重症度スコア（SOFA,APACHEⅡ）、維持血液透析への移行、バイタルサイン）および臨床検査項目（血液、生化学、血液ガス、X線）を調査項目とします。

**５．外部への試料・情報の提供**

該当いたしません。

**６．研究組織**

研究責任者　昭和大学藤が丘病院　内科系診療センター内科（腎臓）　水上　礼
研究分担者　昭和大学藤が丘病院　内科系診療センター内科（腎臓）　西脇宏樹
研究分担者　昭和大学藤が丘病院　内科系診療センター内科（腎臓）　小岩文彦

**７．お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院　内科系診療センター 内科（腎臓）　氏名：水上　礼
住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 昭和大学藤が丘病院　腎臓内科
Email: amizukami+CR@med.showa-u.ac.jp